# 法蔵　　冬　号　　３５９号

・順信寺の予定

＊ 定例法話会　２月１２日（土）午後０時より　お話していただく布教使さんは、旭川市の昭法寺の伊藤孝順師です。御参加お待ちいたしております。

「月に一日、１時間半、仏さまのお話しに耳を傾けてみませんか！！！」

＊ 親鸞聖人御命日のお参り　２月２８日（月）午後１時より

＊ 定例法話会　　３月１２日（土）午後０時より　お話ししていただく布教使さんは、まだ決まっていません。

＊ おみがきもの　３月１３日（日）午後１時より　順信寺の仏具を磨きます。御協力お願い申し上げます。

＊ 春彼岸法要　３月２１日（月）午後１時より

○　１月１２日に修正会兼定例法話会を行う予定でしたが、当日は重たい雪の猛烈な吹雪になってしまい予定していた布教使さんは来ることが出来ませんでした。しかし、なんとあの吹雪の中、３人の御門徒さんが来てくれました。そこで修正会のお参りをして、住職がお話しをさせていただきました。その後、お斎を頂き、納骨堂の片付けを手伝っていただきました。今年の仏法聴聞の幕開けでした。

○　今年の年始のお参りはコロナの問題と雪道で全ての御宅に伺うことが出来ませんでした。焦らず一つ一つ相談しながら行って参りたいと思います。歌登地区は寂しい話題が多いのですが、知恵と勇気を出し合って生きてまいりましょう！！！よろしくお願い申し上げます。

今年頂いた年賀状より

「 初春２０２２

【この手の長さ】

背中のあたりが　かゆくて　苦しんでいると「一人では何でもかんでもできないように　手はちょうどいい長さに　作ってあるのよ」と　母は言って　ぼくの背中の　手の届かない　あたりを　かいてくれた・・・・・

『支える側が支えられて生かされてゆく』（藤川幸之助　詩集より）

いつもありがとう！　御身体　お大事に！」

「人は去っても　その人のほほえみは　去らない
人は去っても　その人のことばは　去らない
人は去っても　その人のぬくもりは　去らない
人は去っても　拝む手の中に　帰ってくる」
（中西智海「ひととき　私をささえる言葉」より）

～亡き人と出会い直し続けていくことがのこされた者の勤めであり、またそこに生きる勇気をいただいて行けるのだと思います。仏法に耳を傾けて生きていきたいものです。

・お通夜のお参りの時やお説教の最初にいただく仏教徒共通のことばである帰依文の現代語訳を紹介いたします。

「私自身、仏を最後のよりどころとして生きる決意をしました。全ての人と共にたすかっていくことを忘れず、仏の教えに参入してさとりにいたる道を深く聞き開き、すべての人が成仏できる道理をわが身の上に完成したいと願います。

私自身、法を最後のよりどころとして生きる決意をしました。すべての人と共にたすかっていくことを忘れず、仏の教えの根本の道理をきわめて、仏の大智慧に感応して世間の善悪のこだわりから離れ、一切の悪が必ず転じて説くとなる広大無碍の精神を完成したいと願います。

私自身、僧（サンガ）を最後のよりどころとして生きる決意をしました。すべての人と共にたすかっていくことを忘れず、サンガの責任を自己一身に担い、師友の恵みを忘れず、サンガの人間関係全てに功利的にたらわれない求道生活をしたいと願います。」（櫟　暁　師）

・忠峰コーナー

「除雪機に　すがって歩く　八十路かな」

「妻乗せて　病院へ走る　道寒く」